

地域の児童、若者を見守る皆様に知っていただきたい発達障害のお話

2021/8/20(金)

10:00~12:00

地域で見守る

発達障害

テレビや新聞記事などでも耳にする「発達障害」。

実はとても身近な、みんな持っている個性の凸凹（デコボコ）のこと。

でも、もし日常生活の中でどうしても困ってしまうことが出てきたら、

当事者やご家族はどこに相談すればいいのでしょうか。

当セミナーでは、川崎市内で相談窓口となる機関の方を講師にお招きして、  
困りごとのある方の学校卒業から就職まで、また生活の様子についてお話して  
いただきます。

当事者やご家族だけではなく、地域の皆様に知っていただきたいお話です。

#### ■ 講師 ■

ハローワーク川崎北

専門援助部門 主任就職促進指導官 関口 勝弘氏

かわさき若者サポートステーション 総括コーディネーター 齊藤 貴之氏

川崎障害者就業・生活支援センター センター長 村田 謙造氏

**参加方法 ZOOMウェビナーを使用したリモート開催**

予定時間の15分前に開場いたします。

詳細は裏面をご覧ください。

**参加費 無料**



6.5%

通常学級に在籍し、  
特別な支援を必要としている発達  
障害の可能性がある児童

卒業後の  
進路について



困ったときは  
どこに  
相談すればいい？



発達障害の  
ある方が活躍  
している職場



主催・お問い合わせ先

社会福祉法人

電機神奈川福祉センター

ウイング・ビート

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区溝の口3-9-4  
津田メディカルビル 1F

TEL 044-822-0411

✉ wingbeat@  
denkikanagawa.or.jp

文部科学省の調査によると、通常学級に在籍する児童のうち、発達障害の可能性があり、特別な教育的支援を必要としている児童は約6.5%(30人学級の場合2名程度)いるという結果があります。

発達障害は誰にとっても身近な事柄です。発達障害について、障害児を持つ保護者や関係者だけでなく、通常学級の児童を持つ保護者や学校関係者など、地域を見守る皆様に広く知っていただきたいと考えています。

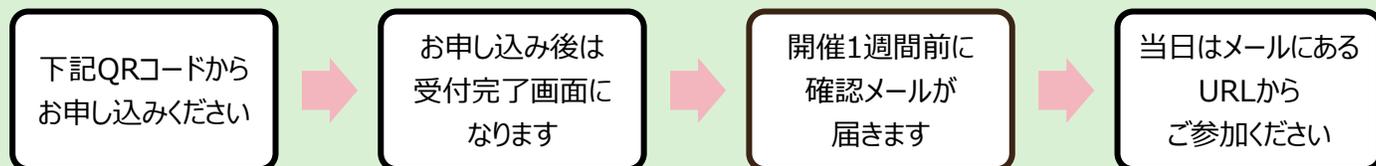
参考：「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」

平成24年度 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

## ■ セミナー「地域で見守る発達障害」 次第 ■

10:00～12:00	※9:45から開場いたします。受付完了画面または申込み確認メールにあるURLからご参加ください。
	① 個性との見分けが付きにくい発達障害の特性の理解
	② 学校卒業後の進路 講師：川崎障害者就労・生活支援センター センター長 村田 謙造氏
	③ 困ったときはどこに相談すればいいの？ 講師：かわさき若者サポートステーション 総括コーディネーター 齊藤 貴之氏
	④ 発達障害のある方の就職 講師：ハローワーク川崎北 専門援助部門 主任就職促進指導官 関口 勝弘氏
⑤ 質疑応答 ※お申込み時にいただいた質問を中心に各講師からご回答いたします。	

## ■ 参加方法 ■



※本セミナーは「Zoom」を利用して開催します。

※ご視聴の際は、PCやタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要となります。

※受付完了画面と確認メールにて接続方法をご案内いたします。

主催・お問い合わせ先 社会福祉法人 電機神奈川福祉センター ウィング・ビート

TEL 044-822-0411 ✉wingbeat@denkikanagawa.or.jp